

徳島大学 重点研究クラスター講演会

難病の克服を目指した免疫学研究の拠点形成 [代表: 安友康二]

共催

NPO 法人 徳島医学研究・教育支援機構

平成30年

日時

12月25日

火曜

17:00~18:30

場所

藤井節郎記念ホール

免疫研究と 臨床応用

熊ノ郷淳教授

大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学

熊ノ郷教授はセマフォリン分子群による免疫応答について先駆的な成果を発表されており、最近ではセマフォリン 6D がマクロファージの代謝調節に関与することを報告されています。また、新たなタイプの CAR-T 療法の開発にも取り組まれています。今回のセミナーではこれまで取り組まれてきたセマフォリンに関する基礎的知見から応用面への展開まで発表して下さる予定です。

【参考文献】 Nature 541:96-101 (2017), Nature Medicine 23:1436-1443 (2017), Nature Rev Rheumatology 14(1):19-31 (2018), Nature Immunology 19(6):561-570 (2018)

本セミナーは大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、重点研究クラスター、クラスターコアセミナー（感染・免疫クラスター）を兼ねています。

連絡先

生体防御医学分野 内線 2282